

逸見地域運営協議会 発足趣意書

逸見は桜の名所として知られる「塚山公園」、ホテルの生息など、緑豊かな自然環境に恵まれており、地形的には谷戸であることから地域の相互扶助に意識が強く、三浦接針の時代から隣同士の付き合いも大切にし、毎年初夏には盛大な祭礼も受け継がれています。

住民の手による社会福祉活動やボランティアセンターの活動などが地域に深く根付いていますが、近年の少子高齢化の波を受けて役員の高齢化や担い手不足が顕著に目立ち始めており、各団体の活動に大きく影響を及ぼし、団体相互の意思疎通を欠くなどの問題が生じています。

幕末には横須賀製鉄所の設置、明治期の海軍工廠の発展など日本の近代化とともに歩み、栄えてきた逸見地域も、他の通勤圏へ移り住む若い世代の増加とともに高齢単身世帯などが目立ちはじめ、主なき後に取り残され、廃屋化した空き家の問題など住民の生活環境も決して好ましいとは言えない状況となっています。

そこで地域の各団体等がこのような課題に向き合い、逸見地域の活性化を図るため、あらゆる方法・手段を尽くすことが大切です。

逸見固有の歴史や文化、自然を生かしたまちづくりなど、住民や地元の団体、組織が主体となり、企業や行政、有識者等と力をあわせて、課題に取り組み活動を推進することを目的として、逸見地域運営協議会を発足します。

平成 25 年 10 月 28 日

逸見地域運営協議会 会長 有泉 明夫

